家庭用自転車エルゴメータのSG基準(公開用)
SG Standard for Stationary Exercise Cycle Trainers for Home-use

1. 基準の目的

この基準は、家庭用自転車エルゴメータの安全性品質及び消費者が誤った使用をしないための必要事項について定め、一般消費者の生命又は身体に対する危害の発生を防止を図ることを目的とする。

2. 適用範囲

この基準は、一般家庭で使用する据置式の自転車エルゴメータ（以下、「エルゴメータ」という。）について適用する。

なお、スポーツジム等の施設用、各種厚生施設用、医療用、測定用等は除く。

3. 安全性品質

エルゴメータの安全性品質は次のとおりとする。

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
1. 外観及び構造	<p>1. エルゴメータの外観及び構造は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 表面にめっき、塗装等が施されているものにあつては、安全性を損なうおそれのある素地の露出、はがれ等がないこと。</p> <p>(2) 身体が触れる部分には、先鋭部、ばり、とがり等がないこと。</p> <p>(3) 組立式のものにあつては、組立ては容易で、かつ適切な方法によって組み立てられた製品の各部には、安全を損なうおそれのある緩み、がた、変形等がないこと。</p> <p>(4) 外部に現れるボルト・ナット、リベット、溶接部等の先端</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>は著しく突き出していないこと。</p> <p>(5) ペダル・クランクの回転は、円滑であり、回転抵抗が著しく異なる箇所がないこと。</p> <p>(6) 手指の触れることができる各部には、挟み込むおそれのある○mm以上○mm以下の開口部がないこと。</p> <p>(7) 回転部、駆動部等には、手指の巻き込みがない構造であること。ただし、クランク部と本体の間隔が一定でない場合は、その間隔は○mm以上であること。</p> <p>(8) 使用者の運動領域内には、調整用レバー等の運動動作の妨げとなるものがないこと。</p> <p>(9) 接地部には、滑り防止のための措置を講じること。なお、滑り止め端具を用いる場合は、容易に外れないこと。</p> <p>(10) サドル高さの調節ができるものにあつては、サドルポストに調整限界表示又は限界以上の調整ができない措置が講じられていること。</p> <p>(11) サドル高さを最高位に調節</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>した時であっても、サドルポストは○mm以上の支持深さを有すること。</p> <p>(12) ハンドル高さの調節が可能なものにあつては、ハンドルポストに調整限界表示又は限界以上の調整ができない措置が講じられていること。</p> <p>(13) ハンドル高さを最高位に調節した時であっても、ハンドルポストは○mm以上の支持深さを有すること。</p> <p>(14) ペダル底面の床面からの高さは、○mm以上であること。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
2. 強度	<p>(15) ハンドルグリップ部及びペダル表面には、滑り止めのための措置が講じられていること。</p> <p>2. エルゴメータの強度は、次のとおりとする。</p> <p>(1) ペダル部の強度試験を行ったとき、ペダルの回り、破損、変形及び使用上支障のある異状がないこと。</p> <p>(2) サドル部及びサドルポストの強度試験を行ったとき、破損、使用上支障のある異状、高さのずれがなく、鉛直方向の永久変形が○mm以下であること。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>(3) サドルの保持試験を行ったとき、回転、破損、変形及び使用上支障のある異状がないこと。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>(4) ハンドル部の回転試験を行ったとき、ハンドル部の回転、破損、変形及び使用上支障のある異状がないこと。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>(5) ハンドルポスト部の保持試験を行ったとき、ハンドルポストの滑り、破損、変形及び使用上支障のある異状がないこと。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
3. 表面温度	<p>(6) ハンドル部を前後に可動させながら使用するものにおいては、可動ハンドル部の強度試験を行ったとき、破損、変形及び使用上支障のある異状がないこと。</p> <p>3. 身体が触れる外表面温度の測定試験を行ったとき、表面温度が室温〇℃以下であり、かつ各部に破損、変形及び使用上支障のある異</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
4. 安定性	<p>状がないこと。</p> <p>4. 安定性試験を行ったとき、転倒しないこと。</p>	
5. 電気的な機能等	<p>5. 商用電源を使用したエルゴメータにあっては、電気的な機能等は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 電装部品関係は、その定格内で使用されること。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>(2) 動作電圧は、定格電源電圧の○%以内であること。</p> <p>(3) 金属部と接地部間の漏れ電流は○A以下であること。</p> <p>(4) 絶縁抵抗は、電源プラグ両端と製品金属部間で○Ω以上であること。</p> <p>(5) 絶縁耐力試験を行ったとき、各部に異状が生じないこと。</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
6. 材料	6. 耐食性材料以外は、防せい処理が施されていること。	
7. 付属品	7. 付属品は、使用上の安全性を損なわないものであること。	

4. 表示及び取扱説明書

エルゴメータの表示及び取扱説明書は、次のとおりとする。

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
1. 表示	<p>1. エルゴメータには、容易に消えず、かつはがれにくい方法で次の事項を表示すること。</p> <p>ただし、(3)、(5)及び(6)は使用時に特に目につきやすい箇所に、大きな文字でその趣旨を表示し、(7)は、購入時にも必ず使用者にわかるよう、その趣旨が表示されていること。</p> <p>なお、その製品に該当しない事項は省略してもよい。</p> <p>(1) 申請者（製造業者、輸入業者等）の名称又はその略号</p> <p>(2) 製造年若しくは輸入年、又はその略号</p> <p>(3) 家庭用である旨</p> <p>(4) 定格 定格電圧、定格消費電力、定格周波数等</p> <p>(5) 使用前に取扱説明書に記載される使用方法を必ず読み、適正な使用方法をする旨。</p> <p>(6) 身体に変調があったら、すぐに使用を停止する旨。</p> <p>(7) 健康な人を対象とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、必ず相談して</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
2. 取扱説明書	<p>から使用する旨。</p> <p>2. エルゴメータには、次に示す趣旨の各項目が記載された取扱説明書を添付すること。</p> <p>(1)は取扱説明書の表紙等の見やすい箇所に示し、(5)～(8)は図を併記すること。(4)、(9)～(12)は安全警告標識等を併記する等してより認知しやすいものであること。</p> <p>なお、その製品に該当しない事項は省略してもよい。</p> <p>(1) 取扱説明書を必ず読み、保管すること。</p> <p>(2) 家庭用であるため、学校、スポーツジム等、不特定多数の利用者によって使用される用途には用いないこと。</p> <p>(3) 使用体重制限 例. 100kg</p> <p>(4) 健康な人を対象とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、及び家庭内リハビリ用に使用する場合は、必ず医師に相談してから使用すること。</p> <p>(5) 各部の名称</p> <p>(6) 部品の構成</p> <p>(7) 組立・分解方法</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>(8) 調節・調整方法</p> <p>(9) 幼児が遊具等として使用しないことを、保護者の責任で注意すべきこと。</p> <p>(10) 設置上の注意</p> <p>①浴室付近等の湿気の多いところや、水滴等が製品にかかる場所への設置は、さびの発生や負荷調整部の狂い等が発生するおそれがあるため、設置に注意すること。 特に、商用電源を使用する製品にあっては、通電部分に水分が入らないよう注意すること。</p> <p>②乗降や使用中の運動動作領域を十分確保できる位置に設置すること。</p> <p>(11) 使用上の注意</p> <p>①電気的な接続部は、確実に接続されており、濡れたり、燃えやすいものが近くにあることを確認して使用すること。</p> <p>②各使用条件を設定する際、調節部等が確実に調整され、接合部、負荷固定部等にゆるみ、外れ等がないことを点検して使用すること。</p> <p>③用途以外の使用は行わないこと。</p> <p>④乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりする</p>	

項 目	基 準	基 準 確 認 方 法
	<p>ことがないこと。運動動作の妨げとなったり、安定性を損なうおそれがあります。</p> <p>⑤身体に変調があったら、すぐに使用を停止する旨。</p> <p>(12) 保管方法及び保管上の注意</p> <p>①使用しない場合は、別の用途には使用しないよう、梱包等し、特に幼児が触れないよう注意すること。</p> <p>②屋外や湿気の高い所には保管しないこと。さびの発生、負荷部の調整不良の原因となります。</p> <p>(13) S Gマーク制度は、エルゴメータの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度である旨。</p> <p>(14) 製造業者、輸入業者、販売業者等の名称、住所及び電話番号。</p>	

参考付図

自転車エルゴメータの各部の名称